

## 地方創生推進交付金の効果検証について

## 1 制度の概要

地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載した地域再生計画に基づく事業の実施に要する経費に充てるため、国が交付する交付金です。補助率は1/2となっています。

## 2 志摩市で実施する交付金事業

本市では、内閣府から交付金の交付を受けて、令和4年度に以下の事業を実施しています。

事業名	事業概要	事業費 (交付金額)
(1) スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業 【継続事業】	スポーツの多様な効果を活用したまちづくりや地域活性化、人材育成等を目的に、スポーツを核とした複合的なツーリズム事業を展開し、季節を限定しない観光商品を造成する。また、新たな観光の創出のため、観光資源の情報収集を実施、事業実施体制の構築、一元的なプロモーション活動などを実施する。	7,100,240円 (3,550,000円)
(2) 買い物利便性向上事業 ～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～ 【新規事業】	買い物支援を行う事業者の新規参入及び事業拡大の促進、買い物機会の確保及び市内の消費拡大を図るため、買い物困難地域を対象に、買い物利便性向上につながる事業を実施する事業者に対して、事業実施及び継続に係る経費の一部を補助する。	3,482,000円 (1,741,000円)
(3) 観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業 【新規事業】	市、観光関連団体、地域、民間企業等の連携による観光地経営を目指し、協議体制を構築するとともに、DMCの創設に取り組み、効果的な観光地経営を展開するための事業について実施する。また、観光魅力・観光消費の向上や観光周遊の促進を目的に、地域の特性に応じた事業を実施するとともに、事業の担い手となる地域団体等において自主・自立的な収益性のある運営がなされるための仕組みづくりに取り組む。	5,001,229円 (2,487,000円)

### 3 KPI（重要業績評価指標）の達成状況について

地域再生計画に記載した各事業のKPIの達成状況については、以下のとおりです。

#### (1) スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業

KPI	目標値	実績値 (R4)	達成度
本取組により造成した スポーツツーリズム等への 市外からの参加者数	40人	150人	A
プロモーションを行った スポーツ関連事業数	10事業	10事業	A
造成したスポーツツーリズム 等の事業数	2事業	6事業	A

#### (2) 買い物利便性向上事業～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～

KPI	目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
解消された買い物困難地域数 (自治会単位)	3地域	5地域	A
小売業者の減少抑制数※1	3事業者	△3事業者	D
補助事業者の平均売上高 (販売事業のみ)	4,000千円	85千円※2	D

※1：減少抑制については、過去平均で市内小売事業者が1年あたり14事業者減少していたことをとらえ、この平均値を基準に、市内小売事業者の減少幅を少なくすることをめざしている。

※2：実績値は、補助を受けた2事業者の事業実施期間における売上額の平均値を計上。両者とも事業開始時期が年度の後半となっており、年間を通じて販売ができていないため。

#### (3) 観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業

KPI	目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
事業展開を行った地域の 入込客増加率	2%	38%	A
市内全体の宿泊客数	150,000人	417,946人	A
事業展開を行った地域の 延べ数	1地域	1地域	A
志摩市管内水揚前年度対比額	50百万円	1,004百万円	A

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】

A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満

## 4 事業の評価

### (1) スポーツを核とした複合的なツーリズム展開事業

本事業の実施により、スポーツツーリズムの造成及びプロモーションにより誘客を進め、3つすべてのKPIの目標値を達成することができました。コロナ禍の影響はあったものの、安心して参加できるよう、開催方式を工夫したこともあり、市外からの参加者数は目標値を大きく上回る結果となりました。引き続き、スポーツツーリズム等の造成に取り組み、さらなる誘客につなげていきます。

### (2) 買い物利便性向上事業～多角的な買い物手段による持続可能なまちづくり～

本事業の実施により、2つの移動販売事業者への支援を行ったことで、買い物が困難となっている5つの地域のカバーを図ることができ、KPIの目標値を達成しました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の影響を受けたことなどもあり、2つのKPIは目標値に届きませんでした。目標値の達成に向けて、今後は、商工会・自治会等との連携を図り、地域住民のニーズ把握を適切に行いながら、必要な取組を進めます。

### (3) 観光周遊の促進を目指した持続可能な観光地づくり事業

本事業では、大王埼灯台周辺地区において地域のまちづくり団体が中心となり、伊勢志摩国立公園の景観や地域産品等の地域資源を活用した事業・プロモーションを実施しました。4つのKPIの目標値については、大きく上回り達成しました。今後、3か年をかけて観光地づくりに取り組む計画であることから、引き続き、担い手となる地域のまちづくり団体への支援等を継続し、コンテンツを充実させ、観光周遊の促進へとつなげていきます。

## 5 今後の取組方向について

効果検証の結果を踏まえて、今後のデジタル田園都市国家構想交付金（旧：地方創生推進交付金）事業の実施に生かしていきます。